

麻生氏と原発

現実を見ていないのか

あまりに粗雑な事実認識と、事故の重い教訓を忘れたかのよ
うな姿勢に驚く。原発という重
要な政策をめぐる有力政治家の
放言であり、看過できない。

自民党の麻生太郎副総裁が、
「原発は危ないというけど、原
発で死亡事故が起きた例がどれ
くらいあるのか調べたが、ゼロ
だ」と述べた。後援会で講演し
た際、原発活用の利点や安全性
を強調する中で飛び出した。

だが、事実はそのようではない。
04年に関西電力美浜原発で配管
が破損、蒸気が噴出した事故で
5人が亡くなった。99年には核
燃料加工会社「JCO」の東海
事業所で臨界事故が起き、被曝
した2人が死亡している。

忘れてならないのは、11年の
東京電力福島第一原発の重大事
故だ。放射性物質がまき散らさ
れ、最大で十数万人が住み慣れ
た地を追われた。逃げる途中や
長期にわたる避難生活で、健康

状態が悪化した高齢者らが多数
亡くなったほか、将来を悲観し
自ら命を絶つ人も相次いだ。こ
うした「関連死」は、福島県内
で2千人を超える。

麻生氏の発言について会見で
問われた松野官房長官は、「原
子力発電所において直接放射線
障害で亡くなった事例はないと
認識している」と指摘した上
で、JCOの事故や原発敷地内
での労災事故に触れて「死亡事
故は発生している」と語った。

麻生氏の発言を補足し、修正
を試みたのだろうか、それで済
む話ではない。福島の事故をめ
ぐっては、13年に自民党政調会
長だった高市早苗氏が「死亡者
が出ている状況ではない」と述
べ、地元の激しい反発を招いて
撤回・謝罪した。麻生氏も自ら
の発言について、公の場で説明
するべきだ。

麻生氏は、岸田首相の後ろ盾
として強い影響力を持つ。原発

の積極活用へかじを切った政権
を後押ししたかったのだろう。

講演では「今もっとも安く安全
な供給源は原子力」「原発を使
えないなら電気料金は決定的に
上がる」とも話したが、これに
も疑念がある。近年は原発の安
全対策費が上昇し、経済面の優
位性は揺らいでいる。

政権が昨年末にまとめた原発
に関する新方針は「事故への反
省と教訓を一時も忘れず、安全
神話に陥ることなく安全性を最
優先することが大前提」とうた
う。だが、誤った認識をもとに
政策の正当性を強調し、福島の
事故で被災した人々の心を傷つ
ける麻生氏のあけすけな物言
いを聞くと、空々しく響く。

原発が抱えるリスクと課題を
直視することは、政権に課せら
れた最低限の責務である。麻生
氏の発言を放置するのか。岸田
首相の認識と指導力も問われて
いる。